

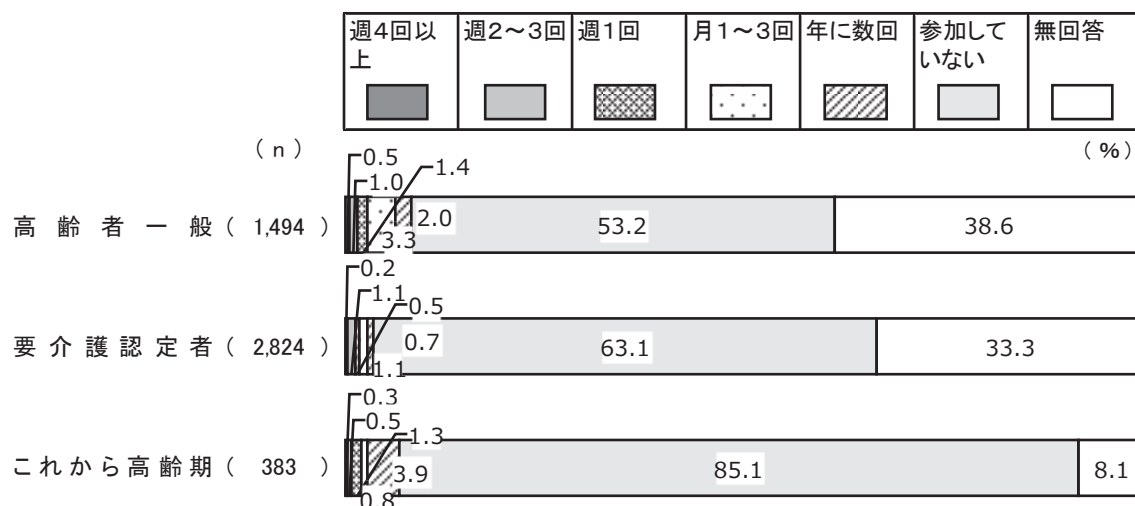
7 地域活動と地域とのつながり

(1) 地域活動への参加状況

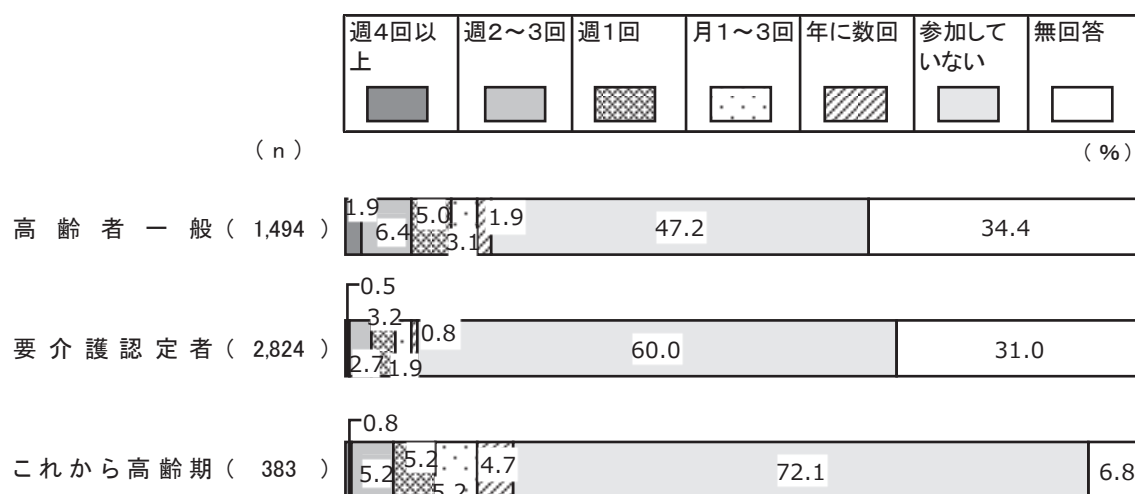
① 地域活動の参加頻度

○いずれの調査、活動においても、「参加していない」が最も高く、約4割超～9割となっている。

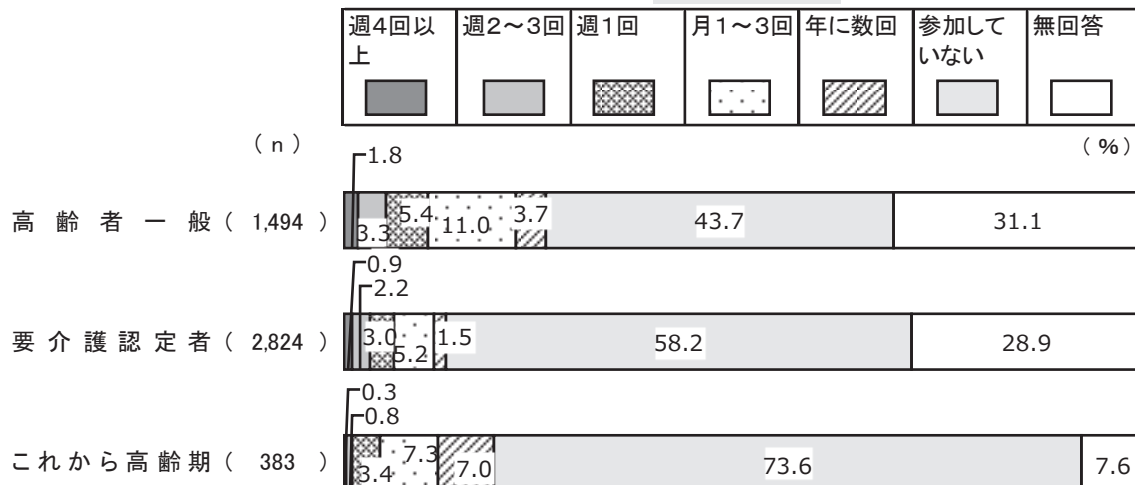
■ボランティアグループ 《ニーズ調査》



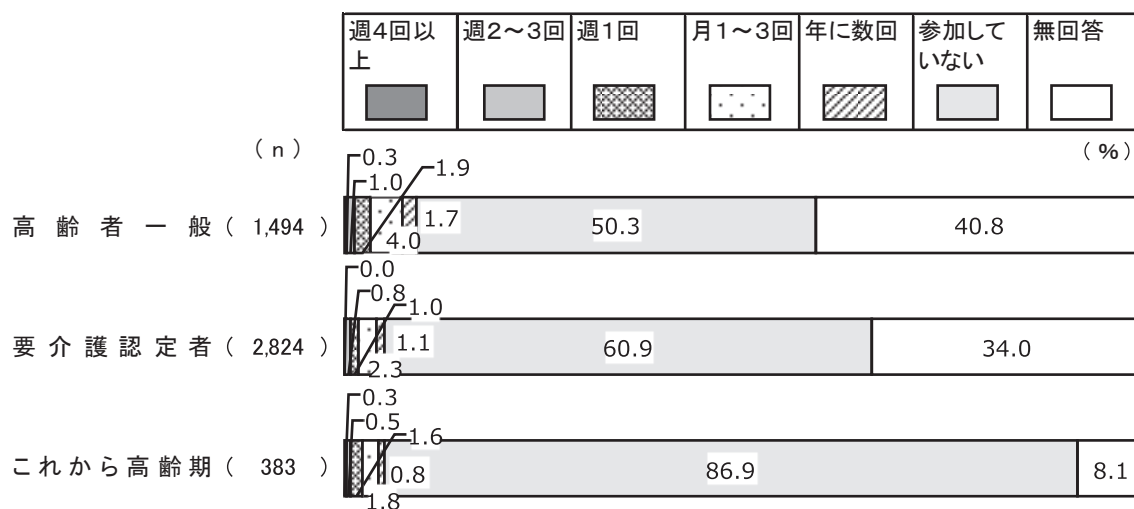
■スポーツ関係のグループやクラブ 《ニーズ調査》



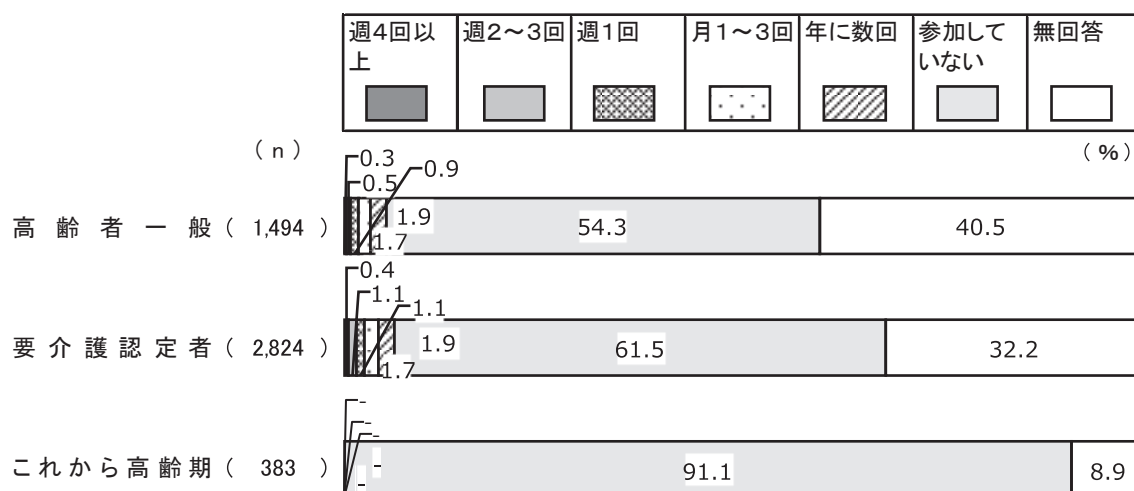
■趣味関係のグループ 《ニーズ調査》



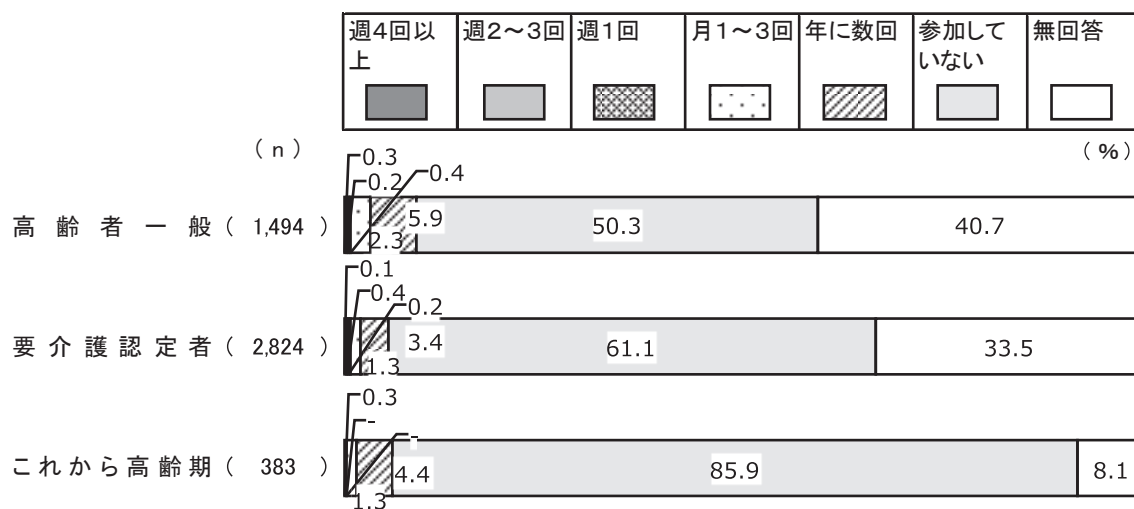
■学習・教養サークル 《ニーズ調査》



■老人クラブ 《ニーズ調査》



■町内会・自治会 《ニーズ調査》

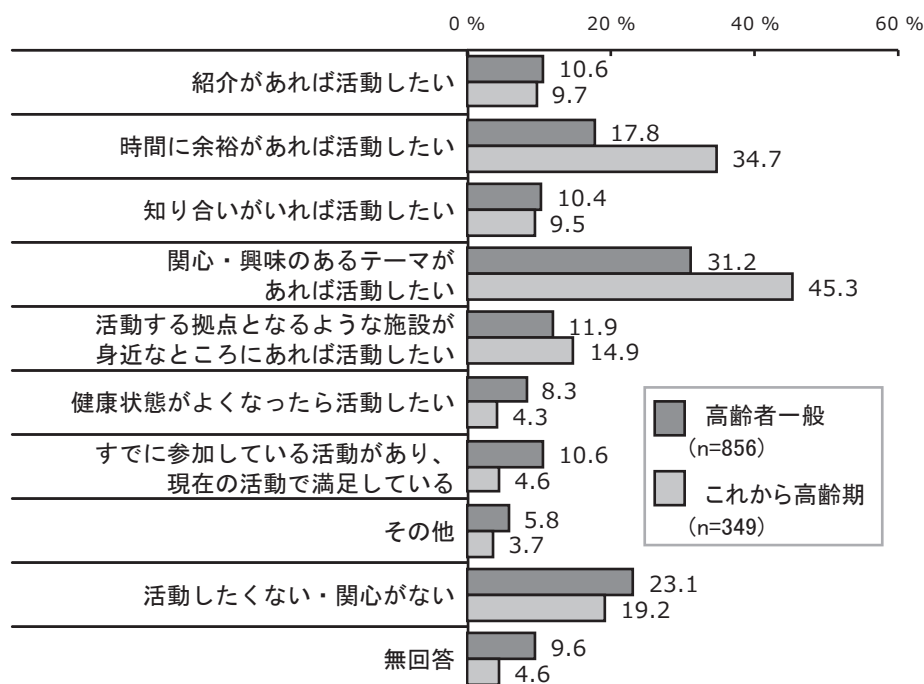


② 地域活動に参加するきっかけ

○①で1つでも「参加していない」と回答した人の地域活動に参加するきっかけは、いずれの調査においても、「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」が最も高く、高齢者一般で31.2%、これから高齢期で45.3%となっている。次いで、「時間に余裕があれば活動したい」「活動する拠点となるような施設が身近なところがあれば活動したい」「紹介があれば活動したい」と続いている。

○「活動したくない・関心がない」は、高齢者一般で23.1%、これから高齢期で19.2%であった。

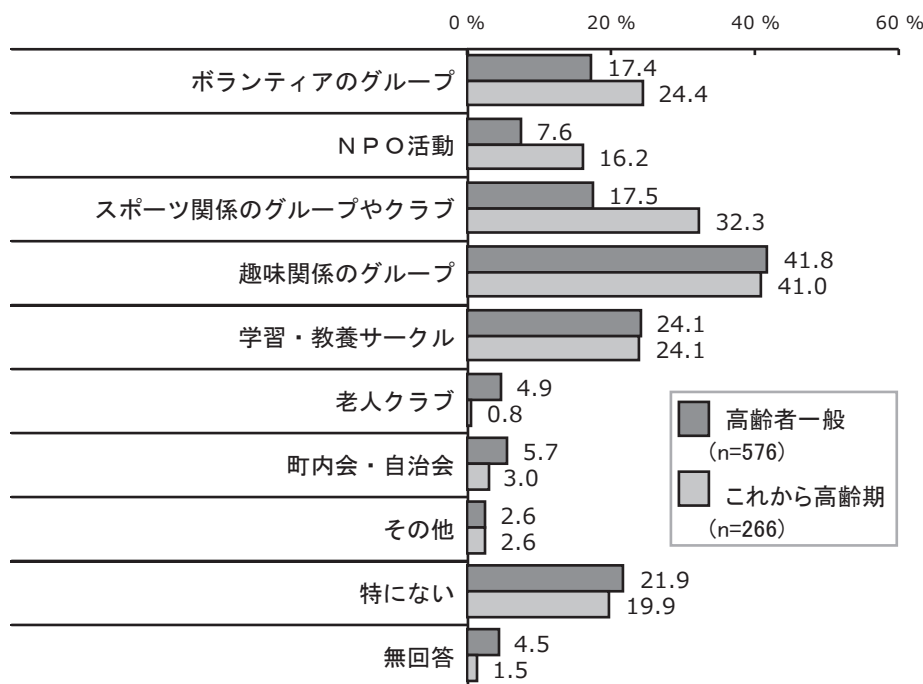
■地域活動に参加するきっかけ（複数回答）



③ 活動してみたい地域活動の分野

○地域活動に参加するきっかけがあれば活動したいと回答した人の活動してみたい地域活動の分野は、いずれの調査においても、「趣味関係のグループ」が最も高く、高齢者一般で41.8%、これから高齢期で41.0%となっている。次いで、高齢者一般では「学習・教養サークル」(24.1%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(17.5%)、「ボランティアのグループ」(17.4%)と続いている。これから高齢期では「スポーツ関係のグループやクラブ」(32.3%)、「ボランティアのグループ」(24.4%)、「学習・教養サークル」(24.1%)と続いている。

■活動してみたい地域活動の分野（複数回答）

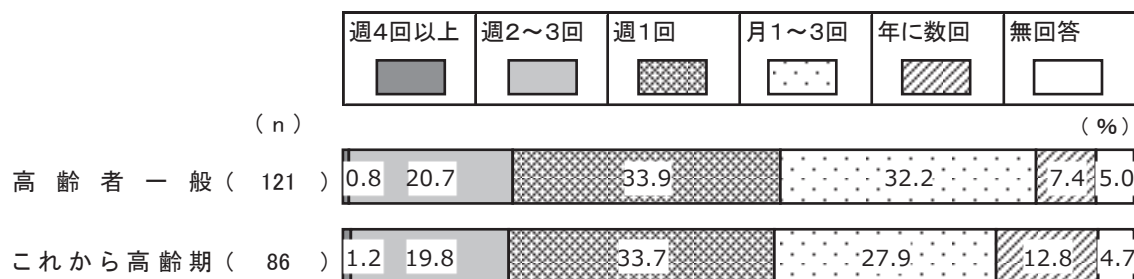


④ ボランティア活動・NPO活動への希望する参加頻度

○活動してみたい地域活動の分野を「ボランティアのグループ」「NPO活動」と回答した人の希望する参加頻度は、高齢者一般では、「週4回以上」が0.8%、「週2～3回」が20.7%、「週1回」が33.9%、「月1～3回」が32.2%、「年に数回」が7.4%であった。

○これから高齢期では、「週4回以上」が1.2%、「週2～3回」が19.8%、「週1回」が33.7%、「月1～3回」が27.9%、「年に数回」が12.8%であった。

■ボランティア活動・NPO活動への希望する参加頻度



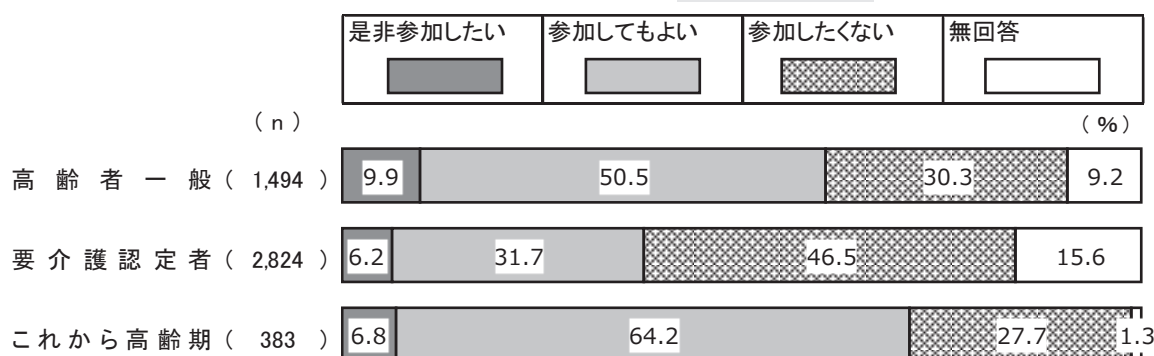
(2) 地域づくりの推進

① 参加者としての参加意向

○地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとした場合、参加者として参加してみたいか聞いたところ、高齢者一般、これから高齢期では、「参加してもよい」が最も高く、それぞれ50.5%、64.2%であった。

○要介護認定者では、「参加したくない」が最も高く46.5%であった。「是非参加したい」は6.2%、「参加してもよい」は31.7%であった。

■参加者としての参加意向 《ニーズ調査》

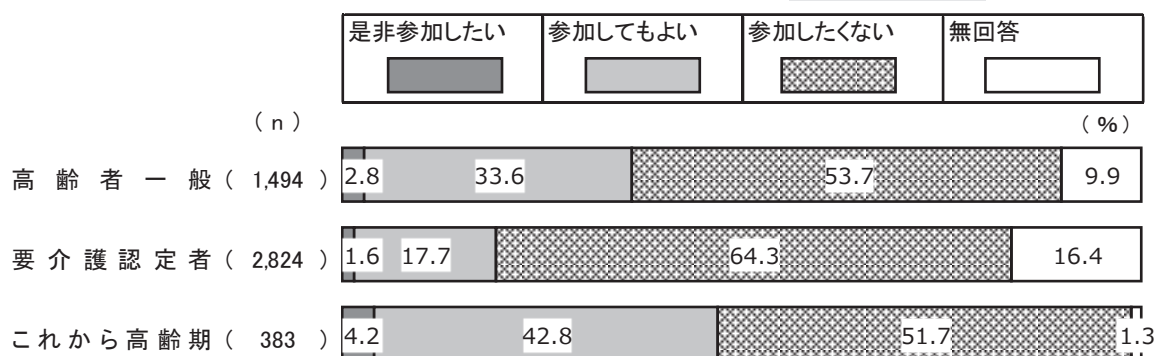


② 企画・運営（お世話役）としての参加意向

○地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとした場合、企画・運営（お世話役）として参加してみたいか聞いたところ、いずれの調査においても「参加したくない」が最も高く、高齢者一般では53.7%、要介護認定者では64.3%、これから高齢期では51.7%であった。

○“参加したい”（「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計）は、高齢者一般で3割半ば、要介護認定者で約2割、これから高齢期で4割半ばであった。

■企画・運営（お世話役）としての参加意向 《ニーズ調査》



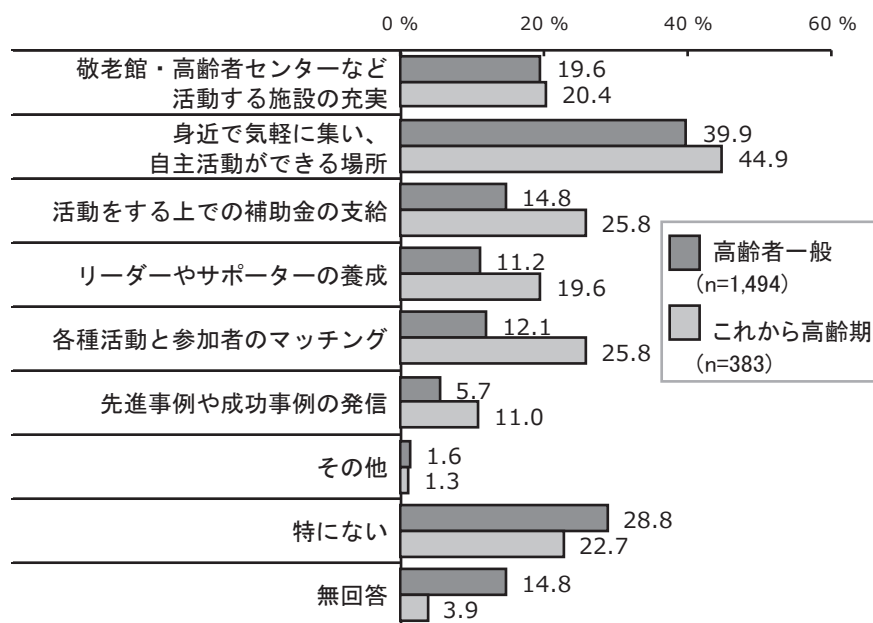
③ 地域活動をする上で今後必要なもの

○いずれの調査においても、「身近で気軽に集い、自主活動ができる場所」が最も高く、それぞれ39.9%、44.9%であった。

○高齢者一般では、次いで「敬老館・高齢者センターなど活動する施設の充実」（19.6%）、「活動をする上での補助金の支給」（14.8%）が続いている。また、「特にない」は28.8%であった。

○これから高齢期では、次いで「活動をする上での補助金の支給」「各種活動と参加者のマッチング」（ともに25.8%）が続いている。また、「特にない」は22.7%であった。

■地域活動をする上で今後必要なもの（複数回答）

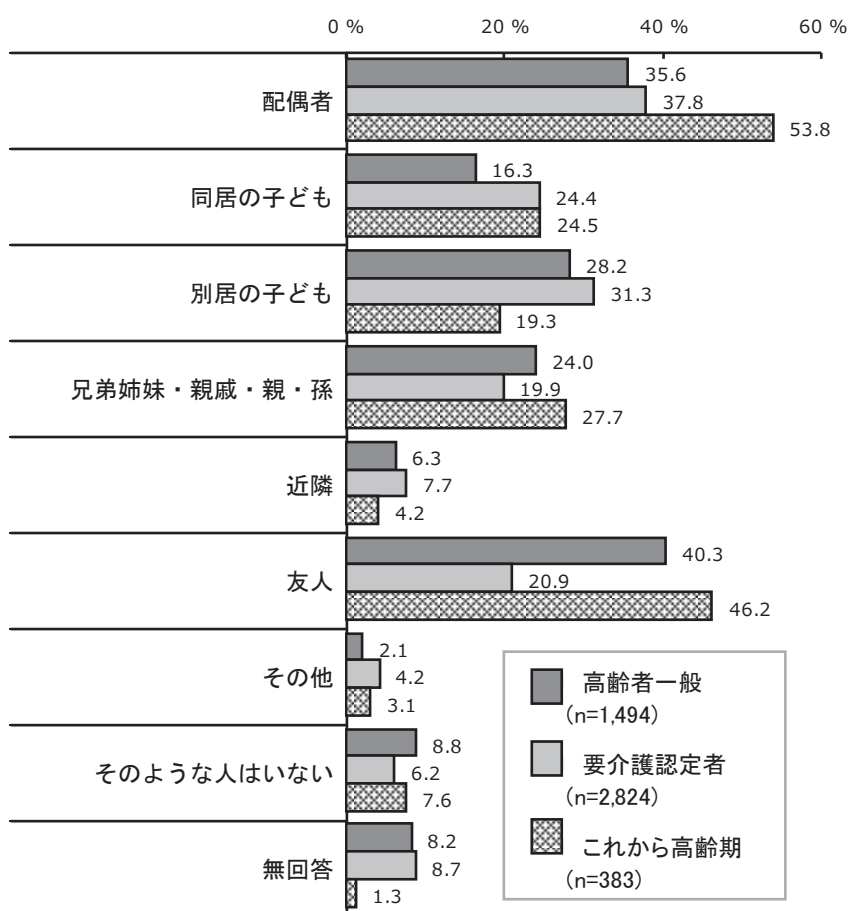


(3) 周囲の人とのたすけあい

① 心配事や愚痴を聞いてくれる人

- 高齢者一般では、「友人」(40.3%)が最も高く、次いで「配偶者」(35.6%)、「別居の子ども」(28.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(24.0%)と続いている。
- 要介護認定者では、「配偶者」(37.8%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(31.3%)、「同居の子ども」(24.4%)、「友人」(20.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(19.9%)と続いている。
- これから高齢期では、「配偶者」(53.8%)が最も高く、次いで「友人」(46.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(27.7%)、「同居の子ども」(24.5%)、「別居の子ども」(19.3%)が続いている。
- 「そのような人はいない」は、高齢者一般で8.8%、要介護認定者で6.2%、これから高齢期で7.6%となっている。

■心配事や愚痴を聞いてくれる人(複数回答) 《ニーズ調査》



【高齢者一般】

○性別にみると、『男性』は「配偶者」が5割超で『女性』と比べて高いが、「友人」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」では『女性』よりも低くなっている。

■心配事や愚痴を聞いてくれる人（複数回答）

《ニーズ調査》＜高齢者一般：性別＞

		友 人	配 偶 者	別 居 の 子 ど も	戚 兄 ・ 弟 ・ 親 姉 ・ 妹 ・ 孫 親	同 居 の 子 ど も	近 隣	そ の 他	い そ な い よ う な 人 は	無 回 答
	n									
高齢者一般	1,494	40.3	35.6	28.2	24.0	16.3	6.3	2.1	8.8	8.2
男性	615	26.8	51.5	18.2	14.1	13.8	3.6	2.3	14.1	7.2
女性	834	50.8	24.3	35.9	31.4	17.9	8.4	1.9	4.9	8.6

(%)

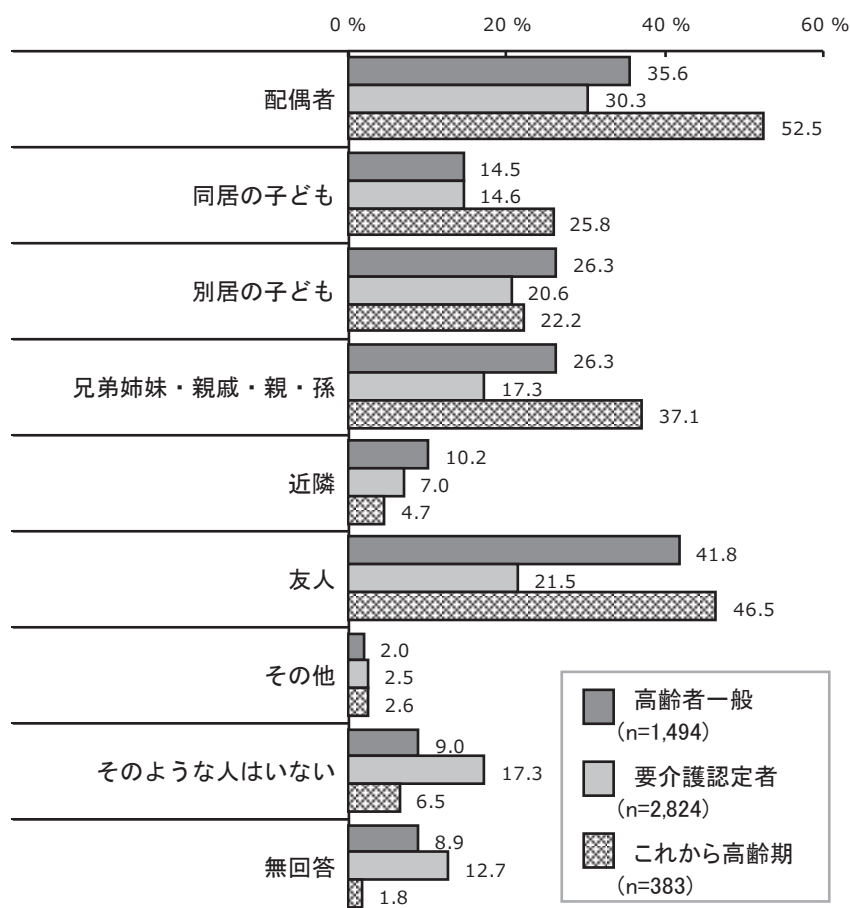
② 心配事や愚痴を聞いてあげる人

○高齢者一般では、「友人」(41.8%)が最も高く、次いで「配偶者」(35.6%)、「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(ともに26.3%)が続いている。

○要介護認定者では、「配偶者」(30.3%)が最も高く、次いで「友人」(21.5%)、「別居の子ども」(20.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(17.3%)が続いている。

○これから高齢期では、「配偶者」(52.5%)が最も高く、次いで「友人」(46.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(37.1%)、「同居の子ども」(25.8%)と続いている。

■心配事や愚痴を聞いてあげる人(複数回答) 《ニーズ調査》

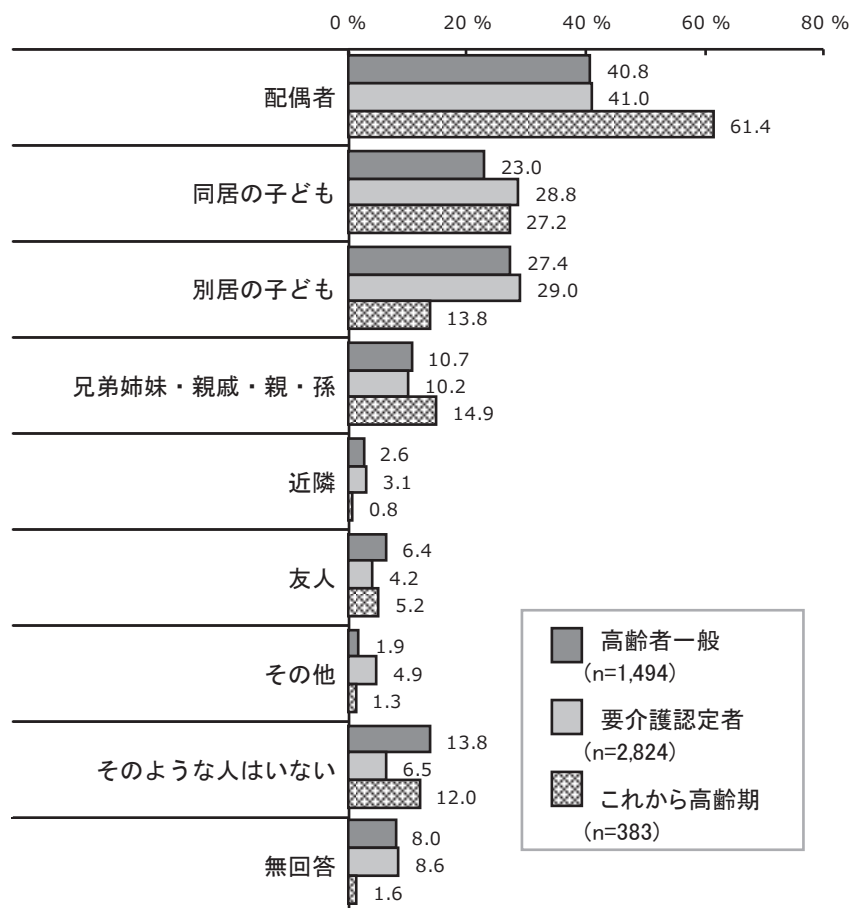


③ 看病や世話をしてくれる人

○いずれの調査においても、「配偶者」が最も高く、高齢者一般で40.8%、要介護認定者で41.0%、これから高齢期で61.4%となっている。

○「そのような人はいない」は、高齢者一般で13.8%、要介護認定者で6.5%、これから高齢期で12.0%となっている。

■看病や世話をしてくれる人（複数回答） 《ニーズ調査》

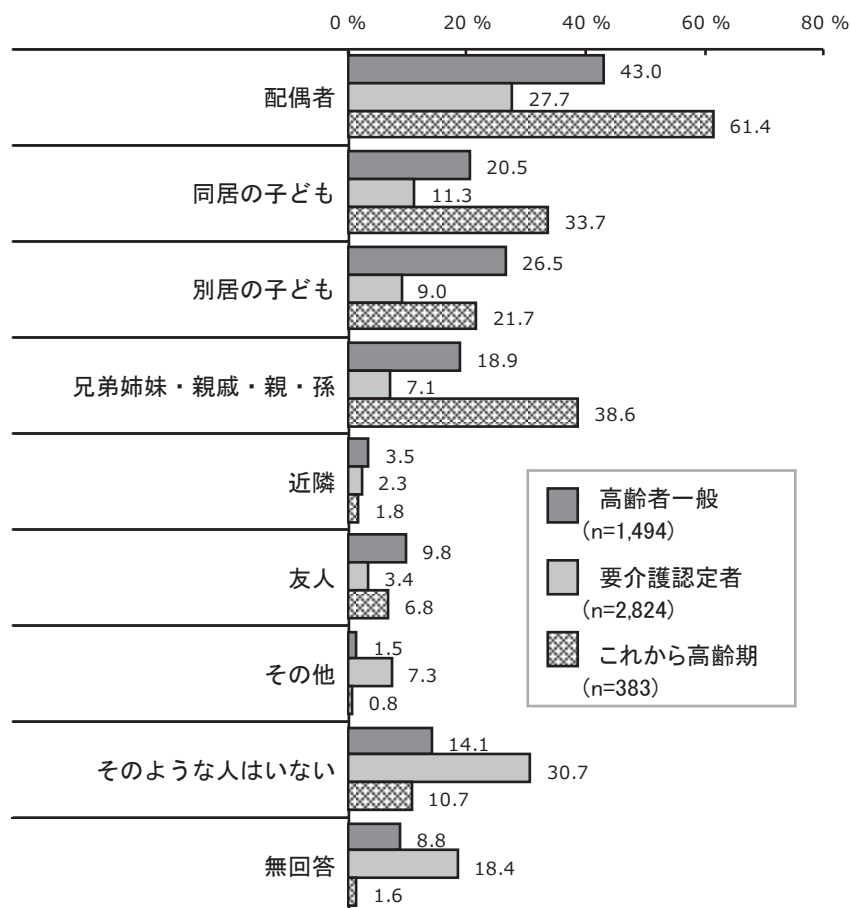


④ 看病や世話をしあける人

○いずれの調査においても、「配偶者」が最も高く、高齢者一般で 43.0%、要介護認定者で 27.7%、これから高齢期で 61.4%となっている。

○「そのような人はいない」は、高齢者一般で 14.1%、要介護認定者で 30.7%、これから高齢期で 10.7%となっている。

■看病や世話をしあける人（複数回答） 《ニーズ調査》

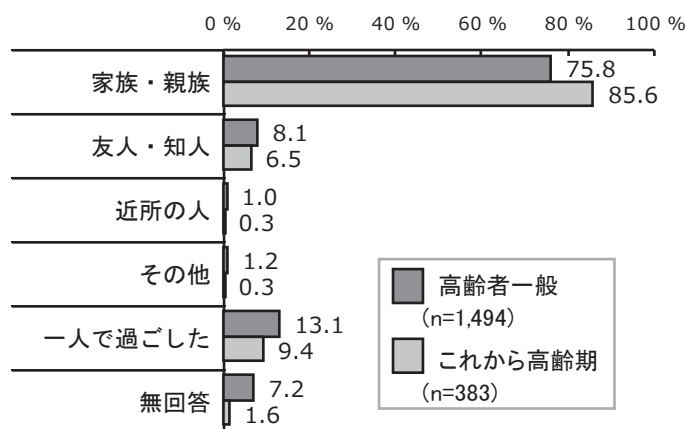


⑤ お正月に過ごした人

○いずれの調査においても、「家族・親族」が最も高い。

○「一人で過ごした」は、高齢者一般で13.1%、これから高齢期で9.4%となっている。

■お正月に過ごした人（複数回答）



【高齢者一般】

○性別にみると、『男性』は「一人で過ごした」が『女性』と比べて高い。

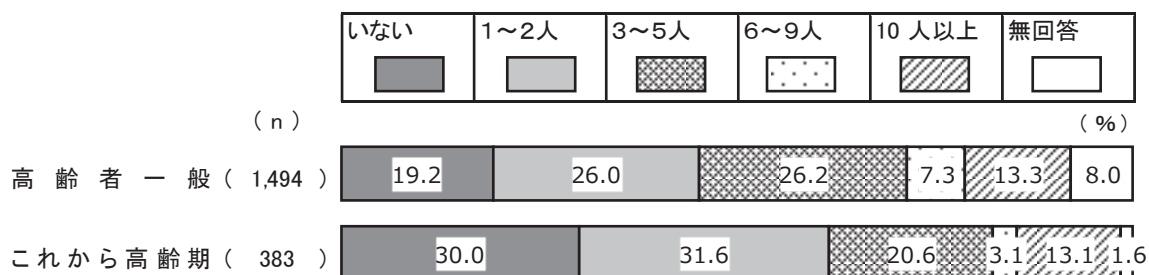
■お正月に過ごした人（複数回答）＜高齢者一般：性別＞

		家族・親族	友人・知人	近所の人	その他	一人で過ごした	無回答
	(%)						
	n						
高齢者一般	1,494	75.8	8.1	1.0	1.2	13.1	7.2
男性	615	73.3	8.8	1.1	1.3	17.1	5.5
女性	834	78.1	7.6	1.0	1.2	10.3	7.9

⑥ 1か月間に1回以上会う友人・知人の人数

○「いない」は、高齢者一般で19.2%、これから高齢期で30.0%であった。

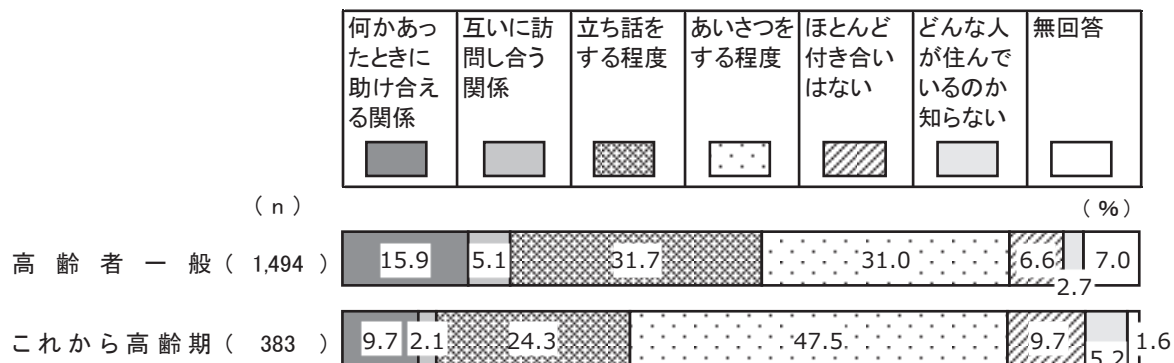
■1か月間に1回以上会う友人・知人の人数



(4) 近所付き合いの程度

- 高齢者一般では、「立ち話をする程度」(31.7%)、「あいさつをする程度」(31.0%)がそれぞれ約3割となっている。「ほとんど付き合いはない」は6.6%、「どんな人が住んでいるのか知らない」は2.7%であった。
- これから高齢期では、「あいさつをする程度」が47.5%と最も高い。「ほとんど付き合いはない」は9.7%、「どんな人が住んでいるのか知らない」は5.2%であった。

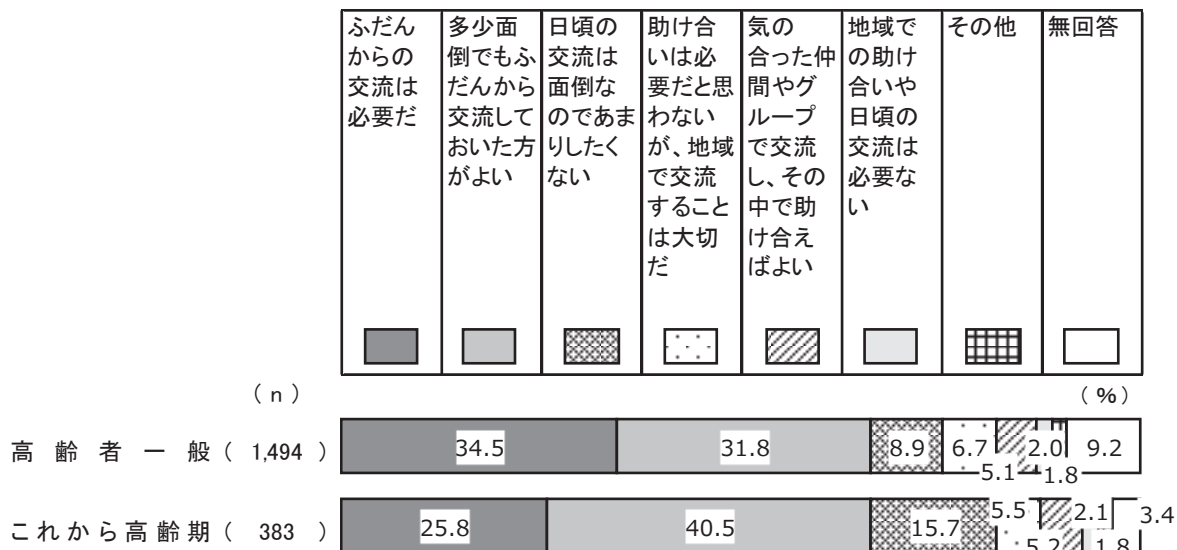
■近所付き合いの程度



(5) 近所付き合いや地域住民の交流の必要性

- いずれの調査においても、「近所付き合いや地域住民の交流は必要」(「ふだんからの交流は必要だ」と「多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい」の合計)が、6割半ばとなっている。

■近所付き合いや地域住民の交流の必要性

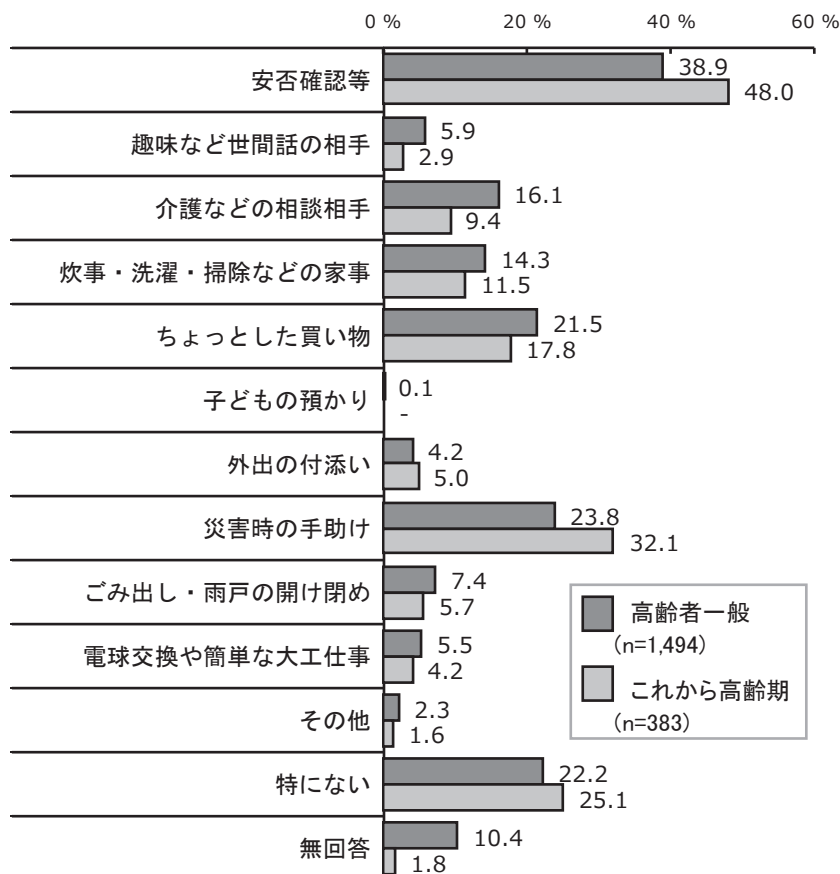


(6) 手助け

① 地域の人たちにしてほしい手助け

- 高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにしてほしい手助けは、高齢者一般、これから高齢期ともに「安否確認等」が最も高くそれぞれ 38.9%、48.0%となっている。
- 次いで、「災害時の手助け」が続いている。
- 「特にない」は、高齢者一般は2割超、これから高齢期は2割半ばとなっている。

■地域の人たちにしてほしい手助け（〇は3つまで）

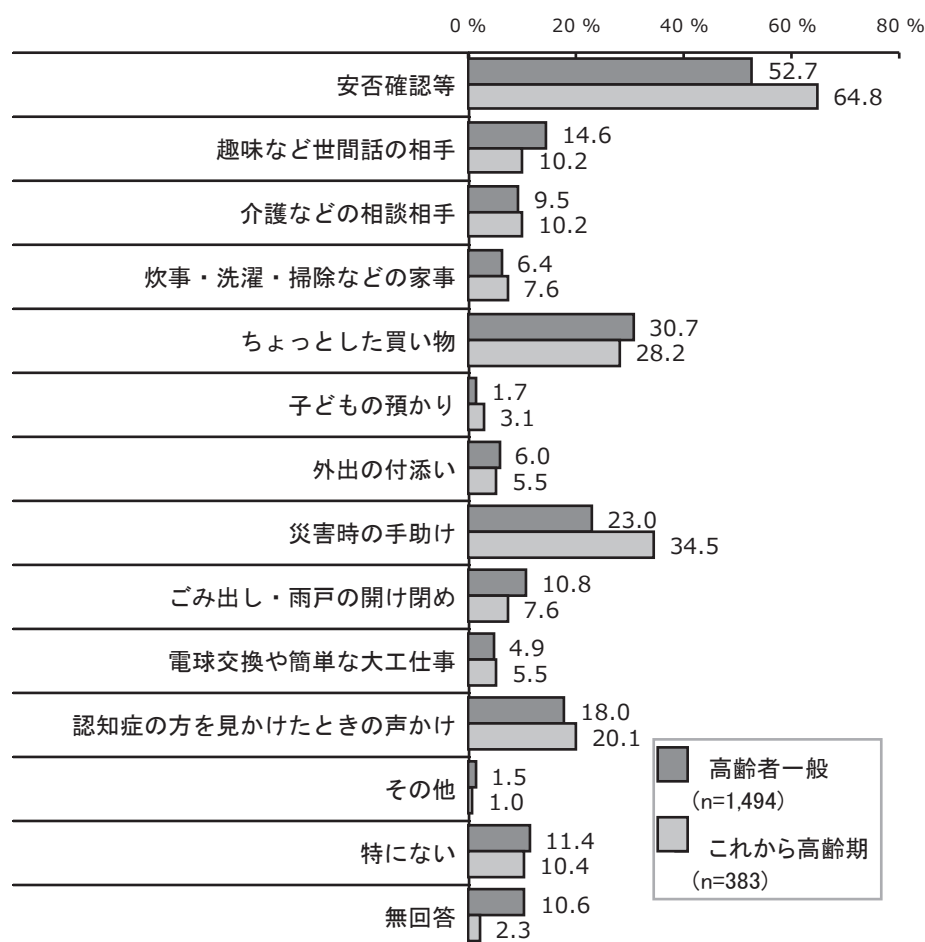


② 地域の支え合いとして自身ができること

○高齢者一般、これから高齢期ともに「安否確認等」が最も高く、それぞれ 52.7%、64.8%となっている。次いで、高齢者一般では「ちょっとした買い物」(30.7%)、「災害時の手助け」(23.0%)、「認知症の方を見かけたときの声かけ」(18.0%)、これから高齢期では「災害時の手助け」(34.5%)、「ちょっとした買い物」(28.2%)、「認知症の方を見かけたときの声かけ」(20.1%)と続いている。

○「特にない」は、いずれの調査においても約 1 割であった。

■地域の支え合いとして自身ができること（○は3つまで）



【高齢者一般】

○性別にみると、『男性』は「災害時の手助け」（3割超）、「電球交換や簡単な大工仕事」（1割超）が『女性』と比べて高い。『女性』は「ちょっとした買い物」（4割近く）が『男性』と比べて高い。

■地域の支え合いとして自身ができること（○は3つまで）＜高齢者一般：性別＞

		安否確認等	ちょっとした買い物	災害時の手助け	認知症の方を見かけたときの声かけ	趣味など世間話の相手	ごみ出し・雨戸の開け閉め	介護などの相談相手	炊事・洗濯・掃除などの家事	外出の付添い	電球交換や簡単な大工仕事	子どもの預かり	その他	特にない	無回答
	n														
高齢者一般	1,494	52.7	30.7	23.0	18.0	14.6	10.8	9.5	6.4	6.0	4.9	1.7	1.5	11.4	10.6
男性	615	54.5	22.3	31.7	13.3	13.2	9.9	8.5	3.1	5.0	11.4	1.1	2.1	12.8	8.1
女性	834	52.4	37.3	16.9	21.7	15.8	11.5	10.6	8.8	6.7	0.2	2.2	1.0	10.6	11.5